



7月1日オープンした「あさひパークゴルフ場」

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2～3
- ★請願・陳情の審査結果……………P 3
- ★議案質疑……………P 3
- ★一般質問……………P 4～8
- ★常任委員会の審査……………P 9～10
- ★行政視察報告……………P 10～11
- ★第2回定例会の日程……………P 11
- ★議会推薦の農業委員……………P 11
- ★議会のうごき……………P 11
- ★子ども議会……………P 12

第2回定例会のあらまし

平成20年第2回定例会が、6月10日から6月25日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会には、旭市名誉市民条例の新規定、工事委託契約の締結、教育委員会委員の任命についての同意の件、専決処分承認など11議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。

6月13・16日には一般質問が行われ、7人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

最終日の25日には、委員会から1件の発議案と市長より飯島重雄氏を旭市名誉市民に決定する追加議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

平成20年
第2回定例会

旭市名誉市民第1号に 飯島 重雄 氏が決定

議案の内容と審査結果

条例の制定

◇議案第1号

旭市名誉市民条例の制定について(可決)
市の振興発展に寄与し、その功績が卓
抜であり市民のひとしく敬愛する方に対
して、旭市名誉市民の称号を贈り、顕彰
することを目的として条例を制定するも
のです。

名誉市民の決定

◇議案第12号

旭市名誉市民の決定につき同意を求める
ことについて (同意)
旭市民として、市や東総地域への多大
な貢献にとどまらず、千葉県の発展にも

寄与された飯島重雄氏の功績は、旭市名
誉市民の称号を贈るに相応しいと確信す
るものです。



飯島 重雄 氏
旭市ハの15番地

工事委託契約

◇議案第2号

工事委託契約の締結について (可決)
旭市公共下水道浄化センターの増設に
係る建設工事等を日本下水道事業団へ委
託するにあたり、議会の議決を求めるも
のです。

- ・ 契約金額 9億8600万円
- ・ 契約方法 随意契約
- ・ 契約の相手方

東京都新宿区四谷三丁目3番1号
日本下水道事業団

人 事

◇議案第3号・第4号・第5号

旭市固定資産評価審査委員会委員の選任
につき同意を求めることについて(同意)

現委員の任期が来る8月18日をもって
満了となるため、後任の委員を選任する
にあたり議会の同意を求めるものです。

なお、現在の委員は4名となっています
が、これは旭市税条例附則第2条の8に
よる合併時の特例であり、今般、同条例
第78条の本則に基づいて3名の委員を選
任するものです。

次の方々が全員賛成で同意されました。

再任 高根 雅人 氏(口)

再任 若林 昭一 氏(後草)

再任 高埜 一衛 氏(三川)

◇議案第11号

旭市教育委員会委員の任命につき同意
を求めることについて (同意)

教育委員会委員1名が来る8月18日を
もって任期満了となるため、後任の委員
を任命するにあたり、あらかじめ議会の
同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。
新任 高木 博幸 氏(関戸)

専決処分

◇議案第6号

専決処分の承認について【旭市税条例の
一部を改正する条例】 (承認)

◇議案第7号

専決処分の承認について【旭市都市計画
税条例の一部を改正する条例】 (承認)

◇議案第8号

専決処分の承認について【旭市国民健康
保険税条例の一部を改正する条例】 (承認)

地方税法等の一部を改正する法律が施
行されたことに伴い、専決処分したもの
です。

◇議案第9号

専決処分の承認について【旭市国民健康
保険直営診療所使用料及び手数料条例の
一部を改正する条例】 (承認)

◇議案第10号

専決処分の承認について【旭市病院事業
使用料及び手数料条例の一部を改正する
条例】 (承認)

健康保険法に定める診療報酬が改定さ
れたことに伴い、専決処分したものです。

委員会提出議案

◇発議第1号

義務教育費国庫負担制度堅持に関する意
見書の提出について (可決)



名誉市民顕彰式にて、祝辞を述べる明智議長

報告

- 報告第1号
平成19年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 報告第2号
平成19年度旭市一般会計事故繰越し繰越計算書について
- 報告第3号
平成19年度旭市病院事業会計継続費繰越計算書について
- 報告第4号
平成19年度旭市病院事業会計予算繰越計算書について

○報告第5号

平成19年度旭市国民宿舎事業会計継続費繰越計算書について

○報告第6号

旭市土地開発公社の事業経営状況について

○報告第7号

財団法人旭市福祉協会の事業経営状況について

○報告第8号

専決処分報告について

主な議案質疑

議案第2号

Q 契約方法について、随意契約とした理由は。

A 委託先の選定に当たっては、建設事業の遂行能力や施設稼働後の維持管理体制等を十分考慮することが重要です。委託先の日本下水道事業団は、これまで数多くの施設の設計や建設等を委託してきた経緯があり、全国で1200か所以上の処理場の受託をしてきました。また、新技術や試験研究の成果を活用し、地域特性に合った優れた施設の建設や建設後のスムーズな維持管理ができることにも技術職員の増員が避けられ、経費削減が図れる等の利点があります。このような団体は日本下水道事業団以外にはないので随意契約をしました。

Q 契約金額の9億8600万円の根拠は。

A 契約金額としましては、高段ポンプ棟及び最初沈殿池の土木建築工事事業費として4億8600万円、水処理設備工事事業費として2億6400万円、電気設備工事事業費として2億3600万円を予定したものです。

Q 浄化センターの1日当たりの処理能力の状況は。将来不足するということから建設工事を行うのか。

A 浄化センターの水処理能力は初期対応分として、年間1日最大で3100m³を処理できます。水処理施設等の整備には、計画当初より汚水流入量の増加に合わせて段階的に計画を行っていくとしており、現事業認可の目標年度の平成23年度末には、供用開始区域の拡大等による汚水流入量の増加が見込まれ容量に余裕が無くなることと、浄化センターの汚水はマンホールポンプによりポンプアップしており、その容量も不足してしまうので増設工事を行うものです。

議案第8号

Q 改正により市の財政的な影響、さらに被保険者への影響は。

A 国民健康保険税の税率改正により、今回の課税、概算で1世帯当たりの調定額は

請願・陳情の審査結果

第2回定例会では、請願3件と陳情3件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区 分	件 名	審査結果
請願第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択を求める請願	採 択
請願第2号	国における平成21(2009)年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願	継続審査
請願第3号	地域手当の県内格差支給の是正を求める意見書採択に関する請願	継続審査
陳情第2号	最低賃金の大幅引き上げを求める陳情	不 採 択
陳情第3号	住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情	継続審査
陳情第4号	いいおかけんこうセンター、海上健康増進センターの利用料などに関する陳情	継続審査

約20万4000円で、前年比較で1万7000円の増となります。世帯数は平成20年が1万3000世帯、平成19年が1万5000世帯で、2000世帯の減。人数は、平成20年が2万9800人、平成19年が約3万7500人で7700人の減となります。

負担増の主な理由は、後期高齢者支援金に加わったことと、限度額の引き上げによるものです。公的年金からの特別徴収は、平成20年10月から開始予定です。対象者は、65歳以上の年金受給者で約1400人を見込んでいます。

【第2回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は6月13・16日に行われ、7人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

資源ごみの販売価格は適正か

環 境

Q 資源ごみの販売価格が新聞やインターネットで調べた価格と比較して安いようだが、2社との見積もり合わせではなく、十分市況を調べた中で競売にかけるなど努力が必要ではないか。また契約が年2回だが、変動のある時には、3か月に1回くらいが適当だと思うが。

A 鉄類については、市場価格よりも低いため当然高く売りたいと思っており、それらを参考にして今後進めていきたい。

契約期間については今年は年2回で10月から新たに結ぶので、今の契約以降については考えていきたい。

温暖化対策の取り組みは

Q 旭市の温暖化対策の取り組みは現在どのように行っているのか。



クリーンセンターでの資源ごみ分別作業

A 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、平成20年3月に、実行計画を策定しました。この計画は、市役所及び市関係機関のすべての組織・施設等における事務事業が対象となっています。温室効果ガスの削減に向けて取り組み平成18年度を基準年度として、平成20年度から24年度までの5か年計画です。

温室効果ガスの削減は

Q 温室効果ガスの削減のため、どのようなことをしているのか。

A 市施設での温室効果ガスの排出量で約7割を占めているのが、電気の使用量です。19年度は3286万4430kW、金額にして5億3386万1962円でした。

今後、各課において点検・評価を行い、削減していききたいと考えています。

解説 温室効果ガス

地球に温室効果をもたらすガス。二酸化炭素・メタン・亜酸化窒素・フロンなど。

ナトリウム灯への転換は

Q 今後、環境対策と電気代の節約のために、各施設の駐車場など、水銀灯からナトリウム灯に変更の検討はしているか。

A 更新時等に環境にやさしい器具への転換を進めていききたいと思っています。

新しくつくる施設については、環境にやさしい施設づくりを、担当課としてお願いしたい。

自然エネルギーの利用は

Q 地域特性を生かしたエネルギーなどの利用は考えているのか。

A 太陽光発電システムの導入、環境にやさしい材料の導入、自然エネルギーの活用などを推進していきたい。

学校での携帯電話所持は

教 育

Q 小・中学生の携帯電話所持についてどのように考えているのか。

A 携帯電話を学校で所持することは、原則として許可していません。

学校の耐震化は

Q 学校の耐震の進捗状況と今後の取り組みは。

A 学校施設は、児童・生徒が1日の大半を過ごす活動の場です。非常災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たし耐震性の確保は極めて重要です。旭市は学校施設の耐震化を積極的に推進しています。

平成18年度、19年度の2か年で中央小、干潟小、共和小、豊畑小、鶴巻小、滝郷小、三川小、飯岡小、第一中及び干潟中の耐震補強工事を実施しました。

今後の取り組みですが、耐震補強工事で耐震性が確保できない建物については、改築により耐震化を進めます。前期の基本計画にも掲載していますが、現在工事中の第二中学校舎、来年度以降は中央小北校舎、矢指小校舎、飯岡中学校舎、屋内運動場及び第一中の屋内運動場を整備し、

安全な教育環境の充実を図るものです。

耐震診断の予定は

防 災

Q 県下でいち早く小・中学校の耐震診断、耐力度検査を終え、危険校舎の建て替え、補強が進んでいます。今後の耐震診断の予定は。

A 公共建築物の耐震診断は、災害時における活動拠点施設となる優先建築物を対象に、小学校、中学校、保育所等を実施してきました。その結果、小学校8校、中学校3校が改修工事を行っています。



校舎改築工事が進む第二中学校

今後、緊急性、重要性、建替計画との整合等から総合的に判断し、財政状況等を見ながら実施していきたいと考えています。

取り組みの現状は

行政改革

Q 旭市行政改革アクションプランが示され、行政と市民とが手を携えて、日本一住みよいまちづくりを推進するために、行政改革取り組みの現状は。

A 職員の数の削減等、さまざまな問題に取り組んでおり、予定よりも効率的に進んでいます。

庁舎の有効利用等は、支所の各課の直轄方式により配置替え等を行い、少人数で市民へのサービスを落とさなくて済むような対策に取り組んでいます。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介します。

◆林七巳議員

- 1 農業問題について
- 2 旭中央病院について
- 3 学校の耐震について

◆滑川公英議員

- 1 入札等の問題について
- 2 産業まつりについて
- 3 危機管理について
- 4 交付税について

◆伊藤房代議員

- 1 児童福祉について
- 2 女性（妊婦の保護）について
- 3 高齢者入院見舞金について
- 4 地上デジタルテレビ放送について

◆高橋利彦議員

- 1 教育問題について
- 2 資源ごみについて
- 3 財政について
- 4 病院問題について

◆伊藤保議員

- 1 地球温暖化対策について

◆木内欽市議員

- 1 中央病院について
- 2 教育問題について
- 3 災害対策について

◆日下昭治議員

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 飯岡西部地区土地改良事業について
- 3 排水路計画について

実質公債費比率が高い原因は

財 政

Q 実質公債費比率18・5%で県内のワースト10の団体となりました。主な原因と市の財政運営や事業計画にどのような影響があるのか。

A 平成18年度から、公営企業等も含めた指標が公表されたため、例えば7万人の分母になるのは標準財政規模。分子は旭市の一般会計だけではなく大規模な病院である旭中央病院が入ってくるため、どうしても高くなってしまうのが一番の原因と考えています。

今後の財政運営への影響については、18%を下回っている団体は起債の申請は県との協議団体です。18%を超すと許可団体になり、知事の許可が必要となりますが、事務的な手続きが少し変わる程度です。

解説 実質公債費比率

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標。

公債費負担適正化計画

実質公債費比率18%を超えた起債許可団体が、実質公債費負担の適正な管理のため取り組みを計画的に行うために策定する計画。

公債費負担適正化計画に基づいた事業計画を

Q 今後の事業計画は、公債費負担適正化計画を念頭に置いた中でどのようにやっていくのか。

A 事業の推進に当たり、有利な交付税等の措置、起債を使いできるだけ将来に負担を残さないように努力しています。合併特例債等を利用して、学校の耐震補強等も一気に進めています。公債費負担適正化計画により、きちんとした財政運営をしていきたい。

有利な起債とは

Q 有利な起債等を利用すると、交付税算入される金額が、結果的にどのような形で出ているのか。

A 合併特例債の借りの額により、国のほうで計算式があり、それに基づいて交付税に算入されます。

落札率 17・13%下がる

入札制度

Q 昨年度は、入札改革がありました。ダイレクト入札はどのような結果になっているのか。

A 郵送・事後審査方式制限付一般競争入札をダイレクト入札と言っており、昨年10月から実施しました。一定の効果があらわれているという認識です。ダイレクト入札10月から3月までの結果は56件実施し、落札率は79・23%、4月から9月まで指名競争入札と比較すると17・13%ほど低下しております。

昨年度入札不調は5件

Q 全国的に入札不調が出ているようですが、旭市の現状は。

A 平成19年度は、工事117件の入札を実施し、そのうち5件が不調となっています。率にすると4・3%です。

市公用車の車検は

Q 車検について、地元企業の育成とうたっていますが、昨年の12月議会から6か月が経過し、どのように検討しているのか。

A 市内に千葉県自動車整備振興会旭支部があり、加盟業者は74業者と聞いています。協会とも相談しましたが、協会でも割り振りは難しいとのことでした。今後は、公用車を多く保有している課から順次一定業者に集中しないように調整を図っていきます。

病院建設への 資材高騰による影響は

中央病院

Q 建設計画については、資材が上がっている中、どのように建設するか。

A 実施設計において必要な機能を確認しながらも建築仕様を見直すなど、コスト縮減のため設計内容を全般にわたって検討を進めているところです。具体的には、躯体工事では全体の高さを少し下げる、外装工事ではタイル張りの範囲を縮小し塗装仕上げに変更する等、検討を進めているところです。

DPCによる増収効果を



本年7月に完成した看護師宿舎（4階建）

Q 今後の経営方針は。

A 本年4月から開始したDPCの増収効果を確実なものとするために、円滑な運用に向けて努力をしています。そのほか7対1看護の実施に向けた看護師確保対策の強化を考えています。費用の削減対策については業務全体を見直し、外部委託を進めていきたい。

医師、看護師の確保対策は

Q 医師、看護師の確保対策はどのようにしているのか。

A 現在、臨床研修指定病院となっています。その結果、研修医の採用試験では、1000名を超える応募があり、毎年約25名程度の研修医を採用しています。

看護師に関しては、看護学校の定員枠の拡大、看護師養成施設の訪問、各種就職説明会への参加、奨学金制度の充実、ホームページ等の充実、看護師宿舎の整備、院内保育所の整備等を行っています。

3次救急医療機関として

Q 救急指定には、1次から3次まであるが、中央病院は何次救急か。

A 3次救急医療機関ですが、実際に救急対応としては1次から3次まで、すべて対応しています。

解説 DPC（ダイアグノーシス・プロシージャー・コンピネーション）

病名や診療内容について分類し分類毎に1日あたりの医療費を定めた包括評価方式の医療費の算定方法。

7対1看護

入院患者7人に対して看護師が1人勤務している看護体制。

初期（1次）救急

休日や夜間などに救急患者を診療するとともに、手術や入院治療が必要な重症患者を第2次救急医療機関に転送する役割を担う。（夜間・休日急病診療所等）

2次救急

救急車により直接、又は初期救急医療機関から転送されてくる重傷救急患者に対応するための診療機関。（救急基幹センター等）

3次救急

救急車により直接、又は初期・2次救急医療機関から転送されてくる心筋梗塞、

脳卒中、頭部外傷などの最重症救急患者の救命医療を中心とする診療機関。（救命救急センター等）

東総地域医療連携協議会の状況は

地域医療

Q 地域医療連携協議会の内容については、香取や山武地域の病院など公開・報道されています。東総地域の現状はどうなっているのか。連携協議会の目的と成果、最終的に何を目指しているのか。また、期間と予算は。

A 東総地区の医療の実情は中央病院に一極集中の形になっています。中央病院の持つ機能をより有効に発揮していくには、周りの病院と連携をし、機能分担することによって生かされるため、東総地区の公立病院との連携を今検討しているところです。

東総地域の皆さんにより有利な医療を提供することを目的とした事業で3カ年で行っています。今年度が最終年度になり、匝瑳市民病院との提携をぜひ形づけてもらいたいと思っています。また、予算は県から出ており、1年間で100万円です。

昨年度の実施の状況は、協議会2回、専門部会2回、専門部会のワーキング3回、ほかに事務協議等で3回、延べ10回ほど開催しています。また、必ず記者席を設け協議会に記者が入れる形をとっている状況です。

妊婦健診の無料化は

保健

Q 初めて受診する日から出産予定日（40週）までに13回から14回の健診が望ましいとされています。しかし、最近では経済的な理由で一度も受診せずに出産する飛び込み出産が取り上げられており、母子にとって危険なものです。4月1日から妊婦健診受診券が、これまでの2回から5回に増えました。さらに14回最後まで無料化にならないか。

A 県内のほとんどの市町村が回数を5回で実施していることから、当市としても現状を維持していきたいと考えています。

地権者同意率は89%

土地改良

Q 飯岡西部土地改良事業の進捗状況と今後の取り組みは。

A 事業の実施には、95%以上の地権者の同意が不可欠になっています。受益者372名のうち330名が仮同意をいただいています。現在同意率89%ですが、95%を目標に県あるいは大利根土地改良区、地元の推進委員会と連携しながら事業推進を図っていきます。

今後の取り組みですが、ほ場整備の基礎調査業務資料を基にしながら平成22年

の春を目指し、国・県の採択を進めていくところです。

海上の排水問題は

Q 飯岡西部土地改良事業に関連をさせて海上の排水問題を解決できないか。

A 蛇園・広原地区の排水問題は、飯岡西部のほ場整備事業に載せて、ぜひ解決したいと考えています。

排水の方法ですが、この事業の排水路に継続をして、通称41号線の道路を使い、そこに水路を造って海まで持つていく方法。国営の放水路を使う方法。調整池を



飯岡西部土地改良事業予定地

設置して、目那川に放流をしていく方法。それから複数の水路に分水をする等いろいろな方法を検討しています。

解説 通称41号線（市道1215号線）

三川浜地区より国道126号線を結ぶ道路。

地区外などの排水負担金は

Q 排水路計画は、市が単独でやらなければならぬ部分と一部あると聞きましたが、県の負担金でできる部分はどの辺なのか。

A 今回の土地改良事業は、県営土地改良事業の中で実施をします。ただ、地区外からの排水、土地改良に属さない部分は、効果の及ぶところが負担する金額の調整が、これから計画の中で生じてくると思っています。

土地改良事業として、農地の部分については県が責任持つて行い、市単独の部分については十分協議し、土地改良だけでは計画が進まないことを、県にもお願いしています。

今後の広原南・蛇園南地区排水対策への考えは

排水路

Q 平成18年9月議会において広原南・蛇園南地区の排水対策として、三川派線改修のための基本設計委託費800万円の補正予算を組みましたが、その計画は。



平成18年4月12日大雨で冠水した県道飯岡停車場線

Q 800万円の予算ですが、結果的には390万円台でその契約が済み、設計を行いました。

三川派線改修は、総延長約5・5キロとなる道路の下に排水管を入れて海まで通す。そのような計画をつくったが、余りにも多額の工費を要するために今の状況は、広原と蛇園を別々に考えています。

飯岡西部土地改良事業と共に

Q 今後の計画で、飯岡西部土地改良事業が進まなければ、排水対策が進まないことになってしまうのでは。

A 排水で困っていることは目に見えています。できるだけ無理の無い資金繰りの中でやりたいと考えています。

め、飯岡西部のは場整備事業とともに行うことが一番有利と考えており、しっかりと話し合いながら進めていきたい。

課題点は

Q 3地区の産業まつりですが、成功に向け3地区個々の課題点・共通したチェックポイントは。

A 合併前と同じようにそれぞれの地域のよさを生かしながら秋に3地区で実施しています。

駐車場の不足や、もちの無料配布をする時間あるいは場所等が来場している方に徹底がなかった点等が課題としてありましたが、地域の特性を生かした祭りということで本年も考えています。

産業まつり

水産まつりや朝市を継続的に

Q いいおか港・水産まつりは年に1回だけではなく、例えば朝市を行うなど継続性についての考えは。

A 水産関係者からは、ぜひ来年も継続して、また今年も朝市についても漁業者の方からは実施しようという話を伺っています。

市の対応は

危機管理

Q 大地震、新型鳥インフルエンザに對する市役所、消防署、教育委員会のそれぞれの危機管理についてお伺いします。

A 旭地域防災計画を基本に取り組んでいます。市職員災害対応マニュアルを作成しており、災害の種類、規模、被害の程度により注意配備、警戒配備、非常配備と配備態勢をとります。

消防本部では、職員の召集と部隊の運用計画を定めています。負傷者が多数発生した場合には、旭中央病院の災害派遣医療チームDMATの出場要請をします。また、被害が広範囲で対応が難しい場合は、千葉県広域消防応援隊や緊急消防援助隊の応援を要請します。さらには自衛隊の派遣要請も考慮されます。

鳥インフルエンザの対応について、消防本部では、保健所、警察署、病院、医

師会等と平成17年に立ち上げた連絡協議会を通じ、情報の交換をしています。

教育委員会では、鳥インフルエンザが発生した直後、国から対策等のマニュアル等が示され、内容は児童・生徒や教職員の対応、飼育動物の適切な管理、また普段の心がけ等についてであり、各学校に至急配布し、指導徹底を依頼しました。

解説 DMAT（ディザスター・メディカル・アシスタント・チーム）

災害医療派遣チームのことで、医師・看護師・事務・運転手で構成される。

チューナーの設置補助は

その他

Q 3年後のデジタル化に向けて新しいテレビの買い替えは難しい人が多くいます。チューナーの補助金、またはチューナーを取り付けてあげることができないか。

A 2011年7月からすべてデジタル放送になるため、従来のアナログ放送は見ることができなくなります。今月、地デジ対策で総務省の委員会が、経済的に厳しい世帯に現物を支給するような支援策を検討していると報道されました。その後、総務省が具体的な施策として予算要求をしていく。このような状況ですので、今の段階では補助の予定はありませんが、国の動向、施策を踏まえ適切に対処していきたいと考えています。

常任委員会の審査

公営企業常任委員会

6月18日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第10号旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の専決処分承認についての審査では、「今回の診療報酬や薬価改正で、こういった影響が想定されるのか。また、薬価は営業収益の何%なのか。」との質疑では、「今回の改正は、診療報酬がプラスの0・38%、薬価がマイナスの1・2%で、全体では、



公営企業常任委員会審査の様様

マイナスの0・82%の改正となっており、

マイナス改正であるので患者の負担も下がることになるが、当院においては、診療報酬だけの影響で見ると、本年の3月と4月の対比では、入院、外来ともに単価がアップしており、一概にアップするというわけではないが、病院全科から見ると若干上回る試算になっている。また、薬価の割合については、平成19年度の実績で、医業収益約271億円のうち、33%くらいが薬剤と材料費になっている。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり承認すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、国民宿舎食彩の宿いおかの改修工事の進捗状況及び水道施設の旭市配水場4ヶ所を視察しました。

建設経済常任委員会

6月19日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案及び陳情1件の審査を行いました。

議案第2号工事委託契約の締結についての審査では、「委託先である日本下水道事業団は、地方公共団体の中で、どのくらいのシェアを占めているのか。また、資材高騰の中、スライド条項を契約に付けているか。」との質疑では、「日本下水



下水道浄化センター地下管廊を視察する建設経済常任委員

道事業団が携わった処理場数が、平成19年度末で1260ヶ所あり、全国の約6割が委託をしており、千葉県下においても、処理場を有している22団体のうち約8割の17団体が委託をしている状況である。また、スライド条項については、協定の中では付けていないが、今後、資材価格の上昇によつては協定変更等により対処したいと考えている。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、陳情第2号最低賃金的大幅引き上げを求める陳情についての審査では、「昨年の10月に千葉県は、最低賃金を20円上げて、47都道府県の中で、5番目に高い706円で、全国平均の687円よりは、高い賃金となっており、生活保護

との関係もあるが、支払う側にとつては、物価が高騰している中で、急激に上げることは、雇用の力がなくなってしまうのではないか。」との意見が出され、全員賛成で、不採択と決しました。

委員会の審査終了後、本年4月に芝山町にオープンした「地域交流パーク風和里しばやま」を視察しました。その後、市内に戻り、完成目前のあさひパークゴルフ場と旭市浄化センターの施設状況等について視察しました。

文教福祉常任委員会

6月20日(金)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案及び請願3件、陳情1件の審査を行いました。

議案第9号旭市国民健康保険直営診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についての審査では、特に質疑等はなく、全員賛成で原案のとおり承認すべきものと決しました。

続いて、請願第2号国における平成21年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願についての審査では、「子どもたちの教育環境の整備や教職員の配慮などがあるが、少子高齢化の中で、果たして、38人学級が成立するのか、教職員が余るような形にはならないのか。」との意見が、また、請願第3号地域手当の県内格差支給の是正を求める意見書採択に関する請願についての審査では、「物価や生計費等の地域格差は、今の時代、あまりないのではないか。人材確保にお



文教福祉常任委員会審査の模様

情の趣旨を含め、総合的に考えると、即判断することはできない。」との意見が出され、賛成多数で閉会中の継続審査と決しました。

委員会の審査終了後、本年4月から指定管理者制度を導入した千歳保育所と埤保育所を視察しました。

総務常任委員会

6月23日(月)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案及び陳情1件の審査を行いました。

議案第1号旭市名誉市民条例の制定についての審査では、「名誉市民の基準というものは、どうなっているのか。また、選考委員会みたいなものはあるのか。」との質疑では、「条例上は、市の振興発展に寄与し、その功績が卓抜であり、市民のひとしく敬愛する方ということで、具体的な基準はないが、決定にあたっては、市の最高意思決定機関である議会の判断をお願いすることになる。また、選考委員会については、置かない条例になっている。」との答弁がありました。

また、「旧旭市と旧飯岡町に、この条例が制定されていたが、旧市、町で推挙された方々はどのようなのか。」との質疑では、「新しい名誉市民の方と、全く同じに扱うことは難しいだろうと考えているが、その成された実績というものは変わることはないの、礼を失することのないように考えていきたい。」との答弁がありました。

議案第6号旭市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についての審査では、「個人住民税の寄附金、通称ふるさと納税について、何件くらいあったのか。また、市として、こういった方策を考えているのか。」との質疑では、「寄附金の申し込みについては、現在のところないが、市としては、ホームページに寄附税制の内容をわかるようにしたり、問い合わせ等に対応できるようになかなたをつくりたいと思っている。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし審査の結果、4議案とも全員賛成で可決並びに承認すべきものと決しました。

続いて、陳情第3号住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求

行政視察報告

議会だより編集委員会

優れた議会報づくりを視察し、より市民の方々に親しまれる議会だよりの編集を目指して、5月28日に群馬県渋川市の行政視察を実施いたしました。

渋川市は、日本そして群馬県のほぼ中央部、雄大な関東平野の始まりに位置し、人口は約8万6000人です。古くは交通の要衝として栄え、豊富な水資源を活かした工業、山地の開拓による農業や、首都圏の奥座敷となる観光・温泉などを

める陳情についての審査では、「陳情事項に、公務員の削減を進めないことや地方財源を拡充・安定させることなどがあるが、当市は、行政改革で、職員定員適正化計画を定め、それに基づいて削減をしており、また、地方交付税については、全国市議会議長会などの地方6団体から政府に対し、安定的地方財源の確保などの要望をしているところで、それらの状況を踏まえながら判断した方が良いのではないか。」との意見が出され、全員賛成で閉会中の継続審査と決しました。

委員会終了後、匝瑳市が平成14年度に建設した市営住宅つばき団地(RC造3階建)の状況等を視察しました。その後、市内の錦木住宅、萬歳住宅、下永井団地の市営住宅の状況等を視察しました。

主要産業としています。

「しづかわ市議会だより」の議会報編集委員会は8名の議員で構成されており、視察当日は正副委員長に対応いただき、説明や質疑に応じていただきました。

市議会だよりの基本的な編集方針を聞く、「議会の自主性、独自性において、市民に対し議会活動を周知させる手段として、議会報を発行することは大きな意義があり、その使命は大きいと考えている。それには、議会が権能を発する本会議、委員会の審議内容をすべて掲載することが望ましいが、諸般の事情により



旭川市役所にて

項目の選択をせざるを得ない。そのため、議員自ら企画、割付、原稿の整理、編集、校正等を行い、真の「手づくり」として、編集委員会で十分検討している」とのことでした。

当市との相違点は、各一般質問・常任委員会の掲載記事を、各質問議員・常任委員長がその初回原稿作成を担当している点です。また、表紙の写真の選択も、各地域を順番にまわり、保育園や小中学校の様子等を中心に選んでいる点でした。

その他編集方法等について、意見交換をおこなってきました。今回の視察で得たものを今後、当委員会の編集に活かしていきたいと考えます。

議会推薦の

農業委員会委員

第2回定例会において、市議会では次の4名の方を農業委員会委員として推薦しました。

○吉田 馨 氏

旭市新町1414番地

○平野 省一 氏

旭市後草1443番地

○向後 與惣兵衛 氏

旭市上永井953番地

○越川 壽一 氏

旭市清和乙673番地

第2回定例会の日程

(開会)

6月10日(火)

- ・人事の紹介
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の上程
- ・提案理由の説明並びに政務報告
- ・議案の補足説明及び報告の説明

◇追加日程

- ・議案の上程
- ・提案理由の説明
- ・議案の補足説明

6月12日(木)

- ・議案の質疑

◇追加日程

〈討論・採決〉

- ・常任委員会へ議案・請願・陳情を付託

6月13日(金)

- ・市政に関する一般質問

6月16日(月)

- ・市政に関する一般質問

6月18日(水)

- ・公営企業常任委員会

6月19日(木)

- ・建設経済常任委員会

6月20日(金)

- ・文教福祉常任委員会

6月23日(月)

- ・総務常任委員会

6月25日(水)

- ・常任委員長の議案・請願・陳情報告
- 〈質疑・討論・採決〉

◇追加日程

- ・発議案の上程
- ・提案理由の説明 〈質疑・討論・採決〉
- ・議案の上程
- ・提案理由の説明
- ・議案の補足説明 〈質疑・討論・採決〉
- ・旭市農業委員会委員の推薦
- ・議員派遣の件
- ・事務報告

(閉会)

議会のうごき

平成20年2月29日以降の議会のうごき

回総会

- ・千葉県北総地区市議会正副議長会定例会

- ・第53回千葉県東部五市体育大会

- ・旭市区長会定期総会

- ・第39回旭市雇用対策協議会定期総会

- ・旭市いおか港・水産まつり2008

- ・旭市商工会第3回通常総代会

- ・千葉県自治体病院経営都市議会協議会

- 第25回総会

- ・山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会通常総会並びに第11回銚子連絡道路整備促進地区大会

- ・全国市議会議長会第84回定期総会

- ・旭市母子寡婦福祉会総会

- 〈6月〉

- ・平成20年度旭市消防団ポンプ操法大会

- ・第3回旭市老人クラブ連合会定期総会

- ・第3回旭市老人クラブ連合会定期総会

- ・第3回旭市老人クラブ連合会定期総会

子ども議員と質問内容

発 言 議 員			発 言 の 要 旨
1 番	村越 拓実	中央小 6 年	商店街を元気付ける活動があるかどうか
2 番	鈴木祐香子	琴田小 6 年	この地域の温暖化防止の取り組みについて
3 番	黒川 惇	干潟小 6 年	通学路の安全について・地球温暖化防止の取り組みについて
4 番	加瀬 徹	富浦小 6 年	ふれあいのある旭市について
5 番	遠藤 萌	矢指小 6 年	旭市の救急医療体制について
6 番	志澤紗也佳	共和小 6 年	通学路の整備について
7 番	杉村 明音	豊畑小 6 年	学区内の公園増設及び学校屋上の有効活用について
8 番	佐久間留未	鶴巻小 6 年	大間手の歩道について
9 番	緒方 麻里	滝郷小 6 年	押しボタン式信号機の設置について
10 番	石毛 春花	嚶鳴小 6 年	子どもの医療費無料化を
11 番	鈴木 勇大	飯岡小 6 年	地球温暖化防止に向けて
12 番	浪川 空	三川小 6 年	ゴミのポイ捨て問題について
13 番	衣鳩 菜穂	萬歳小 6 年	旭市ミニバスケットボール大会の開催について
14 番	古橋 杏奈	中和小 6 年	デジタル波放送の対応について
15 番	佐藤 晴菜	古城小 6 年	自然環境保護対策について
16 番	高野 恭輔	第一中 2 年	バッティングセンターの建設について
17 番	八木知早紀	第一中 2 年	室内プールの設置について
18 番	黒田 晟矢	第二中 2 年	自転車での通学中における市役所前の危険性について
19 番	鶴殿 絢加	第二中 2 年	旭市の災害対策について
20 番	石毛 雄大	海上中 3 年	海上地区の街灯について
21 番	渡辺ひかり	海上中 3 年	市内の不法投棄について
22 番	鈴木 慧	飯岡中 3 年	飯岡海岸のゴミについて
23 番	佐藤 美希	飯岡中 3 年	災害時における避難所について
24 番	山崎 達也	干潟中 3 年	市内バスについて
25 番	衣鳩 恵理	干潟中 3 年	旭市の地球温暖化対策について

平成20年度

旭市子ども議会

7月29日(火)、市役所3階の議場において、子ども議会が開催されました。

一般質問を行ったのは、市内小学校15校

から15名、中学校5校から10名の合計25名の子ども議員。

議場内には傍聴の子どもたちが25名、2階の傍聴席にも学校関係者などが大勢詰めかけるなど、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模様を体験しました。

議事進行役は旭市議会の明智議長・平野副議長が務め、答弁者には市長をはじめ教

育長、各課長が出席。それぞれの質問に応じて、答弁にあたりました。

市政に対する質問では、ごみ問題、地球温暖化対策、災害対策、通学路の整備や街灯及び防犯灯対策など多岐にわたり、執行部の答弁に対し再質問が出るなど積極的な議論が行われました。



子ども議会終了後、明智議長、平野副議長、伊藤市長らと記念写真

議会を傍聴しましょう

第3回定例会は9月3日(水)から行われます。
詳しくは議会事務局へ ☎ 62-5304

FAX 62-5384

編集後記

新生旭市がスタートして3年が経過いたしました。あさひ「議会だより」もお蔭様で第10号になります。

その間、市民の皆様にも少しくも喜んで読んで頂けるよう努力して参りました。

一般質問等、委員で担当を決め編集していく作業では、紙面の都合上、議事録を全部載せられません。色々難しい点もありますが、少しでもその人の思いが伝わるよう頑張っています。

これからも、心の通った「議会だより」をお届けできるように、一生懸命頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(副委員長・伊藤 房代)

旭市議会だより編集委員会
委員長 林 七巳
副委員長 伊藤 房代
委員 木内 欽市
委員 嶋田 哲純
委員 伊藤 保

